

バーチャルパワープラント構築実証事業[2019年度] 「関西VPPプロジェクト」への参画について

2019年5月31日
北陸電力株式会社

当社は、経済産業省資源エネルギー庁の補助事業である「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント(以下、VPP)構築実証事業」^{※1}に、関西電力株式会社(以下、関西電力)などと共同で申請し、補助金の執行団体である一般社団法人環境共創イニシアチブから、5月30日に交付決定通知を受領しましたので、お知らせいたします。

VPP構築実証事業は、工場や家庭などが保有する蓄電池、電気自動車および発電設備などのエネルギーリソースを新たなエネルギーマネジメント技術により遠隔・統合制御し、需給調整力を捻出することで、あたかも一つの発電所のように機能させ、電力の需給調整に活用する実証を行うことを目的としています。

当社は、2016年度からVPP構築実証事業を開始している関西電力が幹事社を務める「関西VPPプロジェクト(以下、本実証事業)」のコンソーシアムに、リソースアグリゲーター^{※2}として参画いたします。

本実証事業では、アグリゲーションコーディネーター^{※3}である関西電力からの制御指示信号に応じて、エネルギーリソースを遠隔・統合制御するために必要なシステムの構築、エネルギーリソースの遠隔制御技術による新たなエネルギーマネジメントの実現を目的としています。

当社は、本実証事業を通じて、リソースアグリゲーターとして必要な技術・ノウハウを取得し、VPPを活用した様々なサービス提供の実現に向けて取り組んでまいります。

以上

別紙:VPP構築実証事業における当社の取組みについて

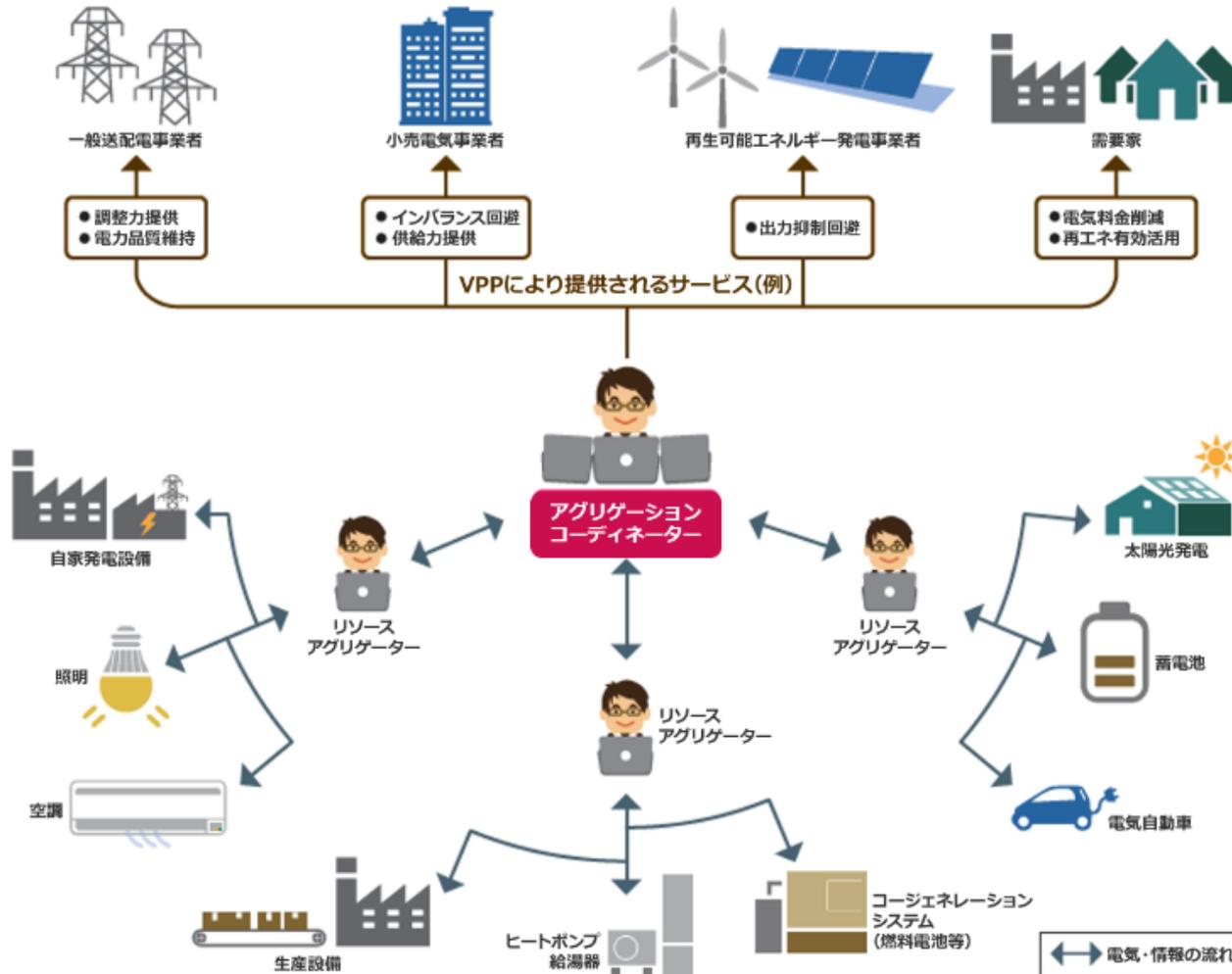
- ※1 経済産業省が、VPPの構築に係る実証事業を行う経費に対して、当該費の一部を助成するもの
- ※2 需要家とVPPサービスに関する契約を締結し、VPPリソースの制御を行う事業者
- ※3 リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と電力取引を行う事業者

V P P 構築実証事業における 当社の取組みについて

2019年5月31日

■工場や家庭などが保有する蓄電池、電気自動車および発電設備などのエネルギーリソースを新たなエネルギーマネジメント技術により遠隔・統合制御し、需給調整力を捻出することで、あたかも一つの発電所のように機能させ、電力の需給調整に活用する実証を行うことを目的としています。

（VPPイメージ）



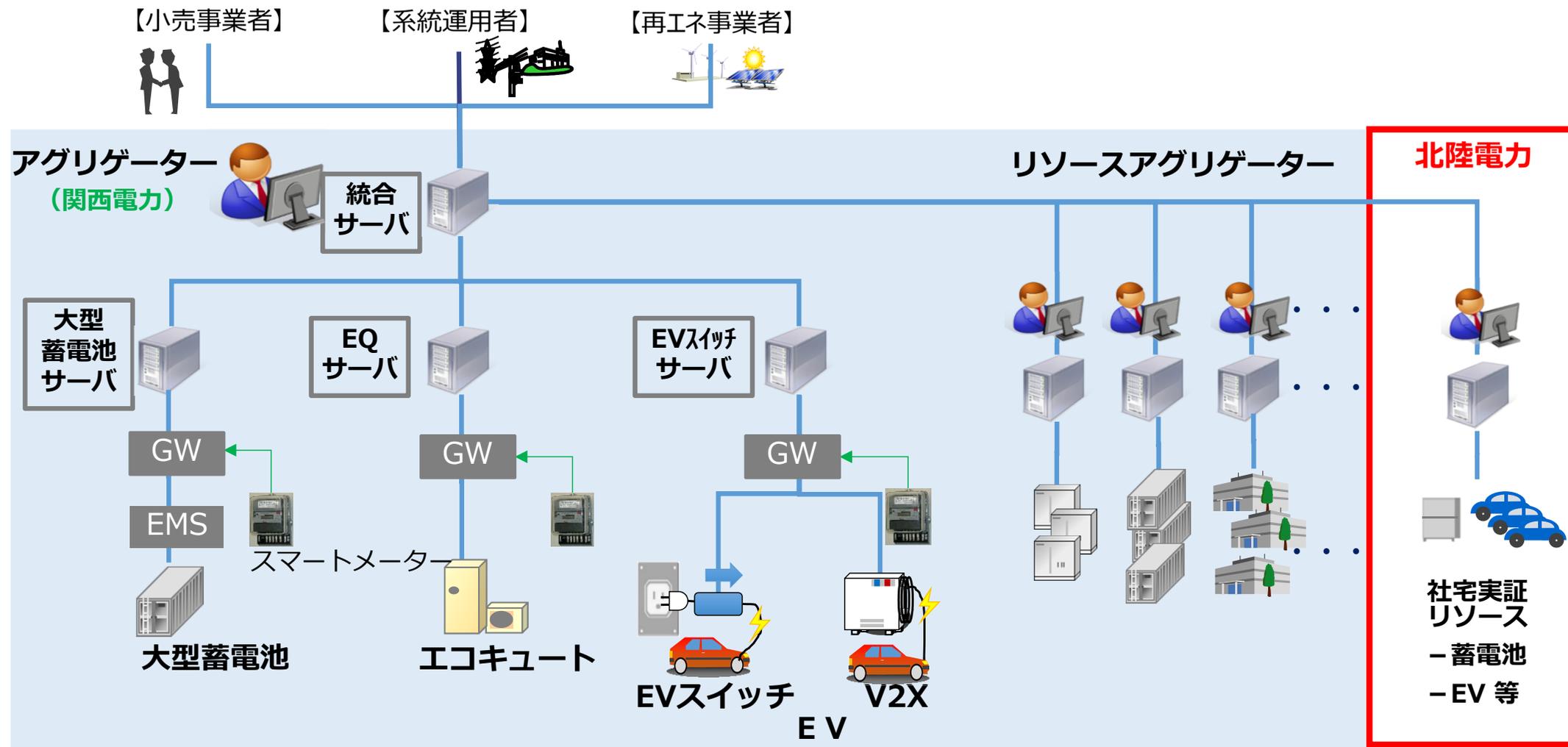
■アグリゲーションコーディネーター

リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と電力取引を行う事業者

■リソースアグリゲーター

需要家とVPPサービスに関する契約を締結し、VPPリソースの制御を行う事業者

■システム構成



- 実証場所 (エネルギーリソース設置場所)
北陸電力社宅 奥井ハイム (富山市奥井町)

- 実証期間
2019年5月30日 (補助金交付決定通知日) ~ 2020年2月16日

こたえていく。かなえていく。

